

S S T P (Shoyo Simple Teaching Plan)

単元デザイン

教科・科目	外国語（英語）・コミュ英Ⅱ	学科・コース	2年 普通科			
単元名	Lesson 8 Paper Buildings Part 2（文英堂 Grove English Communication Ⅱ）					
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・防災について、使用する語句等において、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うことができる。 ・防災について、話される速さや、使用される語句等において、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要を捉えることができる。 					
課題	鹿児島を含め、日本は災害大国と言われていますが、災害に対する備えとして、自分の家庭や町内会等で「現在行っていること」と「これからすべきこと」はなんでしょうか。英語で、自分の意見を適切に伝え、クラスの友人の意見を適切に得るためには、どのようなやりとりをすればいいでしょうか。					
単元の中心となる問い	相手の情報を適切に引き出すためには、どのようにやりとりを工夫すればいいだろうか。					
評価規準 (B段階)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	<ul style="list-style-type: none"> ・情報や考えを話して伝えるために必要となる助動詞と現在進行形の働きを理解している。 ・自分が行っている災害対策について、自分が得た情報や考えを話して伝え、相手の情報を適切に得る技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよく災害に備えるために、「今行っていること」と「これからすべきこと」について、情報や考えを話して伝え、相手の考えを適切に引き出している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよく災害に備えるために、「今行っていること」と「これからすべきこと」について、情報や考えを話して伝え、相手の考えを適切に引き出そうとしている。 			
	SP9	(基)	見	創	(分) 発	
評価場面 ・ 評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンス課題 ・言語活動 ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動 ・パフォーマンス課題 			
単元の 指導計画	時	学習活動	指導と評価の観点			
			知	思	態	SP9
	1	Lesson 8の導入、Part 1 の概略をつかむ	○		◎	見聞力
	2	Part 1を踏まえた発展的な活動		○		発信力
	3	Part 2の概略をつかむ	○			基礎力
	4	Part 2を踏まえた発展的な活動 《本時》		◎	○	発信力
	5	Part 3の概略をつかむ	○			基礎力
	6	Part 3を踏まえた発展的な活動		◎	○	発信力
	7	Part 4の概略をつかむ	○			基礎力
8	Part 4を踏まえた発展的な活動		◎	○	発信力	

※本時の実際は裏面にあります。

S S T P (Shoyo Simple Teaching Plan)

授業デザイン

日時	令和3年11月5日(金) 6限目	指導者	大久保 杏奈	
学級	2年1組(40名)	場所	2年1組教室	
単元名	Lesson 8 Paper Buildings Part 2 (文英堂 Grove English Communication II)			
課題	鹿児島を含め、日本は災害大国と言われていますが、災害に対する備えとして、自分の家庭や町内会等で「現在行っていること」と「これからすべきこと」はなんのでしょうか。英語で、自分の意見を適切に伝え、クラスの友人の意見を適切に得るためには、どのようなやりとりをすればいいのでしょうか。			
本時の実際	過程	主な学習活動	資質・能力の育成の工夫	SP9
	導入 (10分)	1. 帯活動(ペアでのやりとり) 2. Part 2の復習 ・新出単語の復習 ・listeningで穴埋め ・ペアでQA	・英語で身の回りのことについて、簡単なやりとりをし、英語で話すことへの抵抗感を下げさせる。 ・proposalという単語に何度か触れさせ、今回の活動への意識を高めさせる。	
	展開 (30分)	3. 前時に出した宿題の確認 4. 教師のモデルのやりとりを聞く 5. ペアで防災についての情報を英語で共有する	・グループでワークシートを確認し合い、英語表現で不安がある点を全体で共有する。 ・助動詞を使うのか、現在進行形を使うのかを確認させる。 ・教師のモデルを見せ、今回のやりとりで気をつけなければならない点を理解させる。 ・ペアでやりとりをし、あいづちをうちながら、メモをとらせる。何回かペアを変えてやりとりを行うことで、スムーズに英語でやりとりができるようになることを実感させる。	発信力
	まとめ (10分)	6. 代表者の発表 7. 次回の予告	・代表者へのフィードバックと、全体へのフィードバックを口頭で行い、生徒のモチベーション向上につなげる。 ・今回得た情報をまとめ、次回は発表を行う。	